



お母さんの
命を守る
キャンペーン

2009年6月29日(月)発行

国連人口基金東京事務所

キャンペーンリリース No. 5

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所は、2009年6月22日から2010年7月11日の「世界人口デー」までの約1年間、「お母さんの命を守るキャンペーン」を日本国内で実施しています。

2009年「世界人口デー」記者会見 「経済危機とお母さんの命」

7月11日の「世界人口デー」を前に、7月7日(火)、国連人口基金東京事務所は、ジョイセフ、人口問題協議会とともに、「世界人口デー」記者会見を以下の通り実施致します。

国連人口基金は、経済危機を背景に、今年の「世界人口デー」のテーマを“Responding to the Economic Crisis: Investing in Women is a Smart Choice. (賢い選択：女性に投資し、経済危機に対応する)”と設定しました。

本記者会見では、キャンペーンに関連して、「経済危機とお母さんの命」をテーマに問題提起を行います。ゲストとして、勝間和代氏と明石康氏をお招きし、経済危機が妊産婦や女性にもたらす影響について解説していただきます。経済危機で亡くなるお母さんの命を救うために、国際社会は、そして私たちは何ができるかについて経済と国際協力の専門家のお二人から興味深いお話を伺える機会です。

参加ご希望の方は、FAX またはメールにて、下記ジョイセフ事務局までご連絡ください。

【実施概要】

日時：2009年7月7日(火) 15:00~16:00

場所：日本記者クラブ 10階ホールB

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1

主催：国連人口基金東京事務所、(財)ジョイセフ、人口問題協議会

テーマ：「経済危機とお母さんの命」

発表者：明石 康 (ジョイセフ・人口問題協議会会長、元国連事務次長)

勝間 和代 (経済評論家、公認会計士)

池上 清子 (国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所長)

※「世界人口デー」とは：毎年7月11日。1987年7月11日に世界人口が50億人に達したことを記念して、1989年に国連が制定。世界の人口問題に対し関心を深めてもらうことを意図する。

(財)ジョイセフ「世界人口デー」記者会見事務局 (担当：柚山(ゆやま)・石川)

TEL: 03-3268-3150 / FAX: 03-3235-9776 / E-mail: info2@joicfp.or.jp

【キャンペーンに関するお問い合わせ】

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所 (担当：山本・上野)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル7階

TEL: 03-5467-4684 / FAX: 03-5467-8556

E-mail: tokyo.office@unfpa.or.jp / www.unfpa.or.jp



国連人口基金